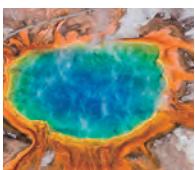


GLOBAL VOYAGE



[グローバル ヴォヤージュ]



第二特集

七つの丘に抱かれる陽光の都市
リスボン

世界遺産検定マイスターによる

世界遺産 入門篇



旅先に「世界遺産がある」と聞くと、ぜひ訪ねてみたいと思うのですが、そもそも世界遺産とは何か、知っていますか。また、世界遺産はどのような基準で選ばれるか、世界や日本にはどのくらい世界遺産があるのでしょうか。意外に知らない世界遺産の基礎知識を、世界遺産検定マイスターが指南。旅に出る前に読んでおくと、現地での見方や感動がひと味もふた味も違ってくるはずです。

片岡 英夫

KATAOKA Hideo

一般社団法人「世界遺産協会」常任理事

「旅行地理検定試験」の1級試験で日本一位を獲得し、海外旅行地理博士の称号を得る。以後、5期連続日本一となり、日本で初めて海外旅行地理名誉博士の認定を受ける。また世界旅行地理検定上級試験で最高得点賞を4年連続受賞。世界遺産検定の最高位「世界遺産検定マイスター」に、第一期生で合格。3つの検定の最高峰を手にしている唯一の人物。これまで400近くの世界遺産を見聞し、全国各地の大学や公民館で生涯教育講座を行い、カリスマ講師として人気を博す。



GLOBAL VOYAGE
2025 Spring

CONTENTS

特集

世界遺産検定マイスターによる

世界遺産 入門篇

訪ねる前に知っておきたい

世界遺産はじめの一歩 P4

これは知っておきたい、

世界遺産の基礎知識 Q&A P6

世界遺産を知ることは異文化理解、

それが世界平和につながっています P8

ピースボートスタッフに聞きました

乗船時にいつも持っていく

アイテムは何ですか? P10

第二特集

七つの丘に抱かれる陽光の都市

リスボン

歩いて感じる「海の王国」の記憶。

リスボン歴史紀行 P13

トラムが誘う、

絵本のような坂の街 P14

哀愁の歌声に宿る、

ポストガルの魂 P15

新クルーズディレクター紹介 P16

PEACE BOAT NEWS P18

訪ねる前に知っておきたい 世界遺産 はじめの一歩

「世界遺産を訪ねる前に、知っておいていただきたいことがあります」と片岡さん。それは、なぜ世界遺産になったのか、という登録基準です。すべての世界遺産には登録基準があり、そこを知っていると、見方もまた違ったものになります。



登録基準を知り、調べる。

それから世界遺産を訪れると
感動がいつそう高まります。

皆さん方が世界遺産を訪ねるとき、覚えておいていただきたいのが世界遺産の登録基準です。登録基準は10項目あります。たとえば登録基準「i」は、人類の創造的資質を示す傑作です。外国の世界遺産ではピラミッド、タージ・マハル、マチュピチ、モンサン・ミッシェルなどがあり、日本の世界遺産では姫路城、嚴島神社などが代表的なもので、その国を代表する文化財が登録されています。

自然遺産の登録基準は「vii」から「x」まであります。「vii」は自然の美しさ、「viii」は地球の歴史、地層、化石など、「ix」は貴重な生態系、「x」は生物の多様性、絶滅の恐れのある動植物がいる、といった基準になっています。

ではここで一つ問題です。日本の自然遺産である知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島、奄美大島などの4つの島のうち、世界遺産的に最も美しいところはどうでしょうか。どうも素晴らしい自然の風景が広がっていますが、登録基準

によって決まります。それは「顕著で普遍的な価値」をもつてることです。「Outstanding Universal Value」＝「OUV」と略されますが、時代、民族、国境、宗教を超えて素晴らしいと思われる価値をもつていて

います。世界遺産の価値を的確に知るためには、訪れる予定の世界遺産がなぜ人類の宝ものとして認められたかを事前に調べておくことです。さらに、どのようにしてできたのか、時代背景はどうだったのかなど関連情報を理解したうえで訪ねると、世界遺産の味わいがいつそう深いものになるでしょう。

厳しい登録基準で選ばれた世界遺産には、絶対になくてはならないものがあります。それは「顕著で普遍的な価値」をもつてることです。「Outstanding Universal Value」＝「OUV」と略されますが、時代、民族、国境、宗教を超えて素晴らしいと思われる価値をもつていて

います。世界遺産的に最も美しいところはどうでしょうか。どうも素晴らしい自然の風景が広がっていますが、登録基準

によって決まります。それは「顕著で普遍的な価値」をもつてることです。「Outstanding Universal Value」＝「OUV」と略されますが、時代、民族、国境、宗教を超えて素晴らしいと思われる価値をもつていて



イスタンブル歴史地域／トルコ(ii)



アンコール／カンボジア(i)



ハロン湾／ベトナム(vii)



ペトラ／ヨルダン(iii)



グレート・バリア・リーフ／オーストラリア(ix)



グランドキャニオン／アメリカ(viii)

登録基準は10項目

(i)～(vi)文化遺産、(vii)～(x)自然遺産に適用

人類の才能(i)

人類の創造的資質を示す傑作。

文化の交流(ii)

建築・技術・都市計画、景観の発展において、価値観の交流を示すもの。

文明の証拠(iii)

現存する、あるいは消滅した文化的伝統、文明の存在に関する独特な証拠を示すもの。

建築の発展(iv)

人類の歴史において代表的な段階を示す、建築様式、建築技術、景観の顕著な見本。

独自の集落(v)

ある文化を代表する伝統的集落や土地・海上利用の顕著な見本。

大きな出来事(vi)

顕著な普遍的価値をもつ出来事。現存の伝統・思想・信仰・芸術的、文学的所産と関連するもの。

自然美(vii)

ひときわ優れた自然美や美的重要性をもつ自然現象や地域。

地球の歴史(viii)

地球の歴史の各主要段階を示す顕著な見本。

独自の生態系(ix)

生態系や動植物の進化発展に関する生態学的、生物学的過程を示す重要な例。

生物多様性(x)

学術上、環境保護上価値をもつ、生物多様性の保全のための自然生息域。

世界文化遺産

World Cultural Heritage

世界自然遺産

World Natural Heritage

世界複合遺産

Mixed Cultural and Natural Heritage

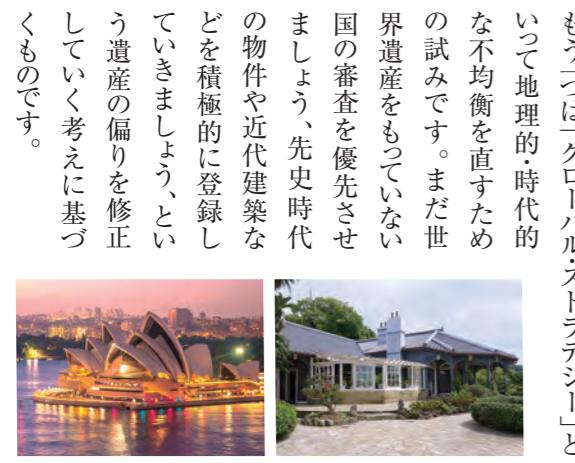
世界遺産とは何か、の前に世界遺産が生まれる発端からお話をします。1960年にエジプトでナイル川上流にアスワンハイダムの建設により、古代エジプト時代に建造されたアブ・シンベル神殿が水没することが分かりユネスコが音頭をとり「人類の宝を救おう」と世界各国に救済を求め、神殿を移築して守ったのがきっかけです。ユネスコは、今後もこういうことが起こりうると考え、世界的な価値のある遺産を守つていこうという機運が高まりました。そして1972年に「世界遺産条約」が生まれました。この条約の素晴らしい点は文化遺産と自然遺産の両方を守るものですが、観光地としてのお墨付きではなく、次世代に大切に残していく人類共通の宝もの、ということであり、その宝ものをどのようにして守るか、という仕組みが世界遺産条約です。現在世界遺産条約のリストに載っている世界遺産の数は1223件です。

世界遺産を
知れば知るほど
旅が面白く
なりますよ



これは知っておきたい、 世界遺産の基礎知識Q&A

世界遺産を知りつくす片岡さんに、入門篇にふさわしい基本的な質問に答えてもらいました。旅人にとって世界遺産はとても魅力ある観光スポットですが、その実態は意外に知られていません。まずは「イロハ」から学んでください。



Q 世界遺産の登録の傾向はありますか

A あります。今の流行はシリアル・ノミネーションというもので、地理的にはつながっていない2つ以上の物件が一つの遺産として登録されるものです。例えば日本の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」は、旧グラバー邸、松下村塾、軍艦島など単体では世界遺産になれなくても、これらをひとまとめに括って23の構成資産で日本を工業立国としての土台を築いた、といいう一つのストーリーのもとで評価される、近年はこうした傾向がありますね。

もう一つは「グローバル・ストラテジー」と

Q 世界遺産の数が最も多い国はどこですか

A イタリアが60件で1番です。次いで59件の中国で、ドイツ、フランス、スペインと続きます。ここ10年で最も多く認定されているのは中国です。他に世界遺産登録に熱心なのはトルコ、イラン、インドなどで、これは国の指導者によるところも大きいと思います。国のアピール材料として考えているのではないかと思います。

Q 一度登録されると、永遠に世界遺産ですか

A いいえ、登録を取り消された物件が、これまで3件あります。世界遺産としての価値を守る努力を怠ると取り消されます。オマーンの「アラビアオリックス保護区」は油田開発のために保護区の90%以上を売却してしまいました。ドイツの「ドレスデン・エルベ渓谷」は交通渋滞解消のため橋を一本かけたため景観が損なわれました。イギリスの「リヴァプール」は都市開発によって歴史的価値が損なわれたと判断されました。



Q 毎年、登録される世界遺産の数は決まっていますか

A 世界遺産の数は現在1223件とかなり多くなっています。以前は無制限に申請できました。が、2020年から申請は1国1件となり、年間の審議件数も35件になっています。



Q 世界遺産はどのように申請されていますか

A 各国では国内の暫定リストを作成します。日本の場合は文化庁、環境省、林野庁などが候補を挙げてきます。このなかから条件が整ったものを1件ユネスコ世界遺産センターに提出し、世界遺産委員会に諮られた後、登録が決定します。



Q 世界遺産に登録されてもおかしくないのに申請されないものは?

A たとえばボリビアのウユニ塩湖は絶景として知られていますが、今後も国の考え方として申請されることがないでしょう。なぜならあの下には大量のリチウムが埋蔵されており、世界遺産に登録されると保全・保護のため開発できなくなる可能性が高いためです。



Q 世界遺産はどうやって決まるのですか

A 世界遺産条約を締結している各国では国内の暫定リストを作成します。日本の場合は文化庁、環境省、林野庁などが候補を挙げてきます。このなかから条件が整ったものを1件ユネスコ世界遺産センターに提出し、世界遺産委員会に諮られた後、登録が決定します。

Q 審議を待っているリストもかなり多いのですか

A 現在、世界遺産センターに提出されている暫定リストは約1760件あります。残念ながら長年候補リストに留まっている例もありますが、旅に出る前に訪れる国の暫定リストをあらかじめ調べて、観光先とするのも賢いと思います。将来的に世界遺産になる可能性があるので、私も機会があれば、暫定リストの場所を訪れています。先日ポルトガルに行つたときは「アルヴァロ・シザの建築群」を見学してきました。



いえばタージ・マハル、カンボジアといえばアンコール・ワットがその国の象徴として思い出されます。アンコール・ワットができたのは約1000年前です。日本でいうと、去年放映されていた大河ドラマ「光る君へ」の舞台、平安時代中期です。平安時代にカンボジアではあればだけの石造建築ができ、さらに最先端の水利設備が整っていたわけです。

当時カンボジアは先進国であり、日本はアジアの辺境国だったわけです。世界遺産はただ行って見て「綺麗だった」で帰つてくるものでなく、なぜそうなったのか、どうやってできたのか、背景や内容を知ってから見ることでいつそう理解が深まります。この相手を知る、

相手の国を知ることが、一人ひとりに平和の心を宿すのです。ですから世界遺産を知ることは世界平和につながっています。



ピースボートクルーズは人との交流が最高の宝ものになります。

最後にピースボートクルーズの魅力についてふれておきます。私は直近ではVoyage 118のクルーズに乗船しましたが、何回乗つても思う素晴らしいことは、人との交流ですね。それは二つあって、「つは船内での参加者同士の交流です。最初はまったく知らなかつた者同士、老若男女、千数百人がだんだんつになっていく、あの一体感はピースボートならではのものでしょう。また誰もが自主企画を主催でき、主役になれるのも素晴らしいです。もう一つの交流は寄港地で現地の人々と過ごす時間です。一般的な観光旅行とは違つ



片岡さんの著書で、世界遺産のこと、楽しく学べます。

美しい写真とシンプルなQ&Aで展開されるビジュアル図鑑『世界でいちばん素敵な世界遺産の教室』(三才ブックス)と、小学生のための世界遺産入門の決定版『ドラえもん社会ワールドspecial みんなのための世界遺産入門』(小学館)、好評発売中です。

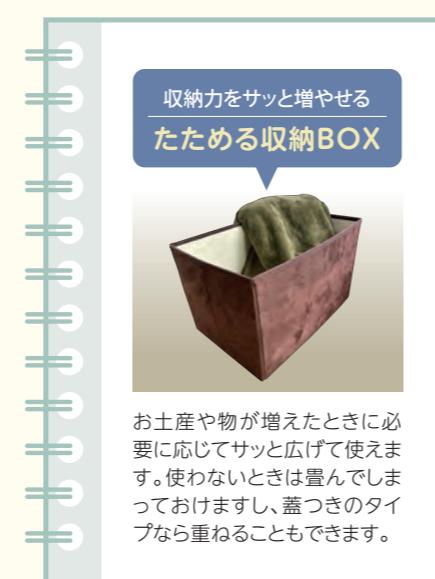


世界遺産を知ることは異文化理解、それが世界平和につながっています。

ピースボートクルーズにおける片岡さんの世界遺産講座は毎回大変な人気です。講座において片岡さんは、参加者の皆さんに観光の魅力を紹介するとともに異文化を理解することが世界平和につながっていくことを訴えかけます。

私はこれまで、ピースボートクルーズに何度も乗船し、水先案内人として世界遺産についての講座を担当してきました。そこでは、世界遺産を学ぶ本当の意義についてもお話ししています。世界遺産を決めるのは、国連の専門機関であるユネスコです。国際連合そのものが、第二次世界大戦後に「戦争や紛争の再発を防ぎ、世界の平和と安全を守る」ことを目的に誕生しました。なぜ戦争が起きたのか。理由の一つに、異なる文化や考え方を知らない「無知」があります。かつての日本も、軍国主義のときに開戦しましたが、もし広く国際社会の現状や相手国の実情を知る機会があれば、選択肢は変わったかもしれません。無知を防ぐには、教育こそが鍵です。

ユネスコ憲章の前文には「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心のなかに平和のとりでを築かなければならぬ」と記されています。この「平和のとりで」とは、異文化を理解し尊重する心のこと。世界遺産はまさにその象徴です。それぞれの国が世界に誇る財産を知り、理解し合うことが、平和への一步なのです。たとえばエジプトといえばピラミッド、中国といえば万里の長城、インドと



ピースボート
スタッフに
聞きました

乗船時にいつも 持っていく アイテムは何ですか?

何度も船旅を経験しているピースボートスタッフに、乗船時に欠かせない持ち物をインタビュー! 便利グッズから意外なアイテムまで続々登場しました。これを見れば、持ち物準備も安心。快適な船旅のためのヒントが満載です!



七つの丘に抱かれる
陽光の都市

リスボン



Lisbon/Portugal

ヨーロッパ有数の観光スポットを誇るポルトガルは、世界中から観光客が集まり年々その数が増えています。首都リスボンは丘に囲まれ、その歴史は大航海時代まで遡り、喜望峰やインド航路を発見し、隆盛を誇った旧き時代の建築物や遺構が残っています。小さな街ですが、アートや自然、グルメが存分に楽しめます。



歩いて感じる 「海の王国」の記憶。 リスボン歴史紀行。

リスボンは「発見の時代」の記憶を刻む街。その起点となつたベレン地区には、ポルトガルの海洋国家としての栄光が凝縮されています。まず目を引くのが、テージョ川に寄り添うように建つベレンの塔。装飾が細やかな石造りの塔は、かつての防衛の要であり灯台で、まるで海から浮かび上がつた守り神のように建っています。すぐ隣には、帆船の帆を模した「発見のモニュメント」。大航海時代を支えたエンリケ航海王子と、大航海に携わったポルトガル人たちの像が、今もなお、前方を見つめています。

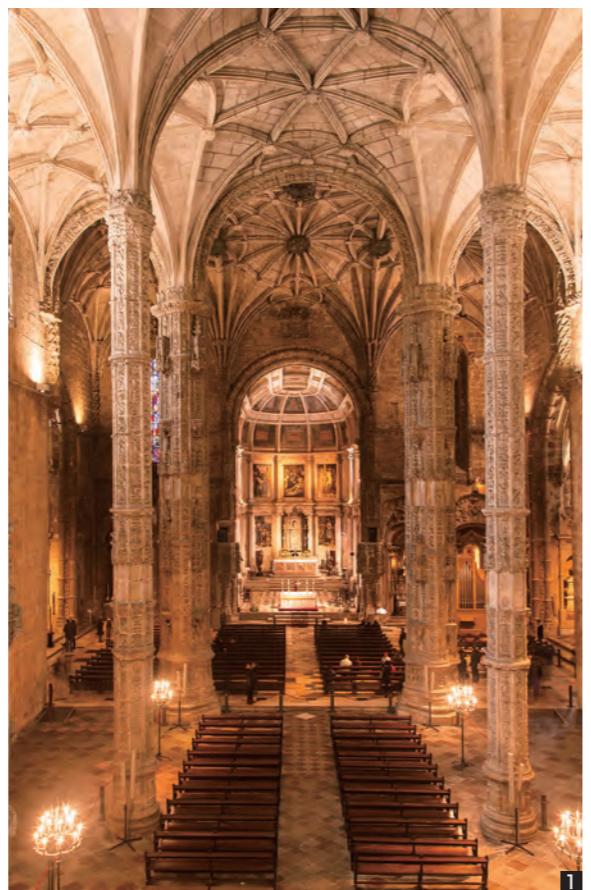
川沿いから徒歩圏内にあるマヌエル様式の「ジェロニモス修道院」は、世界遺産にも登録された壮麗な建築。奥にある「サンタマリア教会」もお見逃しなく。探検家ヴァスコ・ダ・ガマの石棺が静かにその歴史を物語ります。建物全体に施された緻密な彫刻と高い天井は、訪れる者を圧倒する美しさです。



上空から眺める「ベレンの塔」は水中に浮かぶ彫刻のよう。地上からとは異なる神秘的な表情を見せてくれる。



1:「サンタマリア教会」は広大で荘厳な空間に静けさが漂う。2:リスボン屈指の名建築と称される「ジェロニモス修道院」。荘厳な外観は彫刻と石細工の芸術品。3:教会内部に置かれるのは大航海時代の探検家、「ヴァスコ・ダ・ガマの石棺」。4:幾何学模様のアーチが連なる修道院の回廊はマヌエル様式の美が凝縮されている。5:修道院内部は時間が止まったかのような神聖さに包まれている。



巨大な帆船の形をした高さ52mの記念碑「発見のモニュメント」。

遙かなる航海の夢が始まった街、リスボン。かつて大航海時代の出発地として、ヴァスコ・ダ・ガマらがここから新天地へ旅立ちました。テージョ川のほとり、七つの丘に抱かれた街を歩けば、白壁と赤屋根のコントラストが美しい街並みが陽光に照らされて目に映ります。大航海時代の栄光、震災からの復興、そして現代的な文化も共存する街から歴史とロマンを感じられることでしょう。古い路面電車が坂道をのんびり登り、石畳の道に響く音が旅情を誘う。世界遺産や歴史的建造物、美しい展望台に心を奪われながら、リスボンならではの彩り豊かな時間を楽しんでください。



4: レストランではプロの歌手のほか地元の人々が一曲歌うこともある。5: 繊細な旋律を奏でるポルトガル・ギター。6: 船内で開かれたファドのショー。



海と大地の恵みを一皿に詰め込んだ「豚とアサリの煮込み」。南ポルトガルの風土が生んだクセになる逸品。



ぶりぶりのエビと野菜にオリーブオイルとレモンが香る前菜。



グリルでこんがり焼かれた「イワシのグリル」。骨ごと味わうのが地元流。



ポルト発祥のパンチのあるガッツリ系サンドイッチ「フランセジニャ」。



ワインの名産国にはそのラインアップも豊富。地元料理とともに味わいたい。

哀愁の歌声に宿る、ポルトガルの魂

ファドはポルトガルの魂を映す伝統音楽。19世紀初頭、リスボンの港町で生まれ、長いあいだ人々の心を癒し、今も歌い継がれています。「運命」を意味するその名の通り、人生の喜びや哀しみ、あるいは痛みを旋律にのせて紡ぎます。特徴的なのは、12本の弦を持つポルトガルギターの繊細な伴奏。歌手の声に寄り添い、ときに涙のようになきます。リスボンやポルトのレストランでは、今も生演奏が行われ、キャンドルの灯りのなかで耳を傾けるファドの演奏は、旅の記憶に深く刻まれることで行なわれことがあります。広い海の上でも、ファド歌手を招いた特別なショーが行なわれることがあります。広い海の上で出会う哀愁の歌声は、まるでポルトガルの風景そのもののように、静かに心を揺らしてくれます。



カタント走る黄色のtramはリスボンの街を象徴する風景の一つ。



アルファマ地区は、リスボンらしさがぎゅっと詰まつた坂道の街で、とりわけ絵になるシーンが広がっているエリアです。黄色いtramがカタンカタンと音を立てながら、迷路のような石畳をすり抜けていきます。沿線には「リスボン大聖堂」や「サン・ジョルジエ城」など、見逃せない名所が点在し、車窓からの眺めも楽しめます。



1: テージョ川に面した開放的な「コメルシオ広場」は黄金のアーチが印象的で、ヨーロッパらしい優雅さを感じられる。2: 地元の人と肩を並べてランチタイム。新鮮な魚介に舌鼓。3: おとぎ話の世界から現れたようなカラフルな宮殿「ペーナ宮」は見る角度ごとに異なる表情を見せてくれる。

高台にある「サン・ペドロ・デ・アルカンタラ展望台」からは、赤い屋根とテージョ川が織りなす、まるで物語の挿絵のような風景が一望できます。ふもと立てながら、迷路のような石畳をすり抜けていきます。沿線には「リスボン大聖堂」や「サン・ジョルジエ城」など、見逃せない名所が点在し、車窓からの眺めも楽しめます。

タラ展望台」からは、赤い屋根とテージョ川が織りなす、まるで物語の挿絵のような風景が一望できます。ふもと立てながら、迷路のような石畳をすり抜けていきます。沿線には「リスボン大聖堂」や「サン・ジョルジエ城」など、見逃せない名所が点在し、車窓からの眺めも楽しめます。

タラ展望台」からは、赤い屋根とテージョ川が織りなす、まるで物語の挿絵のような風景が一望できます。ふもと立てながら、迷路のような石畳をすり抜けていきます。沿線には「リスボン大聖堂」や「サン・ジョルジエ城」など、見逃せない名所が点在し、車窓からの眺めも楽しめます。

tramが誘う、絵本のような坂の街



「ここに地果て、海始まる」—詩人カモンイスの言葉が刻まれた標柱が立つロカ岬は、ユーラシア大陸の最西端。空と海が一つになる光景に思わず息を呑む。



ピースボートスタッフとしては何回乗船していますか。

これまで地球を6周しました。だいたい、1年に1回くらい乗船してきています。船内新聞、カルチャースクール、船内企画の運営などさまざまな事に携わってきました。ピースボート的魅力の一つが船内企画だと思います。そこでは参加者が主役になるんですね。たとえば大きなステージで数百人を前に発表会をしたり、スポットライトを浴びるチャンスがあります。その企画を立てて良かった」と嬉しく

就任に至る過程で周りから後押しされました。決断を下すのが半分で、嬉しさ半分、不思議な感覚でした。ただ、自分一人で船を出すのではなく、仲間たちに支えてもらっているながら、そして参加者の皆さんとともに素晴らしい地球一周の旅をつくれたら、と思い決めました。

クルーズディレクターは
どのような役割を果たすのですか。

かが企画をしてくれたものに便乗して出会いや学びを重ねてきましたが、これからは自分もしっかりと船旅をつくる一員になって、自分が経験できたことを多くの人に提供できるようになりたい、ということでした。Voyage121もご乗船いただくなりす。かけがえのない日々をお預かりした。そのとき思つたのは、それまでは誰た。

コミュニケーションをとれる存在でもあります。ありたいと思っています。

初めてクルーズディレクターを務めるうえで抱負を聞かせてください。



ご期待ください。私自身は皆さんのお話しさやご意見を聞きながら、一緒に最高の旅をつくっていきたいと思ってます。皆さまの声に耳を傾けるのが一番の仕事と思っています。至らない点など気づかれたことがありますから遠慮なくご指導ください。若さを武器に（笑）船内を動き回って、汗を流して役目を果たしていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



クルーズディレクター
椎名慈子 SHIINA Noriko

今年8月に出発するVoyage121でクルーズディレクターを務めるのが椎名慈子。クルーズディレクターとしては今回が初乗船となります。「フットワーク良く動いて皆さまの声に耳を傾けたい」という椎名にVoyage121へ向けた思いなどを聞きました。

茨城県の実家は千葉周作が創始し、坂本龍馬が学んだ道場としても知られる北辰一刀流の宗家。父の椎名市衛氏が2013年に宗家を継いだ。今回のクルーズティレクター就任にあたって「謙虚さと感謝を忘れずに」という言葉も父から贈られたもの。

「皆さまの声を聞きながら、素晴らしい旅を
一緒につくっていきたいと思っています」

初めての船旅ではどのような思い出がありますか。

何も知らない若者でしたから船内でゲストの話を聞くのも刺激的で、自分の知らない世界がたくさん広がっていました。ヨルダンのパレスチナ難民キャンプで話を聞かせてもらつたり、カンボジアでは地雷検証ツアー、キリング・フィールドなども訪れ、自分としては受けとめきれずにキャパオーバーになりましたが、社会的な問題に関心をもつきつかけにもなりました。また当時は10代の参加者も多く、同世代の仲間と旅をする楽しさもありました。

スタッフの人たちがイキイキと仕事をしているのを見ていて、憧れのようものはありました。自分では務まらないと思つていました。でも「進路が決まっていなければ3ヶ月でもいいからやつてみない?」と誘つてもらい、バイト感覚からスタートしました。やつてみて分かったのは皆さんの思い、気持ちですね。それぞれ業務も違うし、進め方も違うけれど「船を出す」という一点は共通していて、そこへの気持ちの強さを感じて凄いと思い、「私もここで仕事をしたい!」となりました。

高校卒業後、日本以外の場所を知りたくて留学を考えていたところ、姉の友人がピースボートに乗船したことを聞きました。ボランティアスタッフをすると旅費が割引かれ、世界一周で多くの国を訪ねられることに魅力を感じ、方向転換しました(笑)。18歳の夏に初めて乗船し、素晴らしい体験をしました。



スペインで友だちとサグラダ・ファミリア

P B V 公益社団法人として 新たなスタート

ピースボート災害支援センター(PBV)は2025年4月1日付けで「公益社団法人」として内閣府から認定されました。一般社団法人から公益社団法人への移行認定にあたり、PBVの災害支援の特徴、現在の取り組み、今後の展望などについて上島安裕事務局長に話を聞きました。



ピースボート災害支援センター
事務局長
上島安裕

2007年の新潟中越沖地震より災害支援活動をはじめ、国内外で80を超える国と地域で活動を行なってきた。現在はPBV事務局長として国内外で起こる自然災害への支援と共に、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の運営委員および専門委員として、災害前からの防災・減災への取り組みを行なっている。



内での主な災害支援 ※2024年3月現在

年月	災害名
2011年3月	東日本大震災
2011年8月	福島豪雨
2013年8月	岩手豪雨
2014年7月	山形豪雨
2016年9月	岩手台風10号
2019年10月	福島台風19号
2021年2月	福島県沖地震
2022年3月	福島県沖地震
2022年7月	宮城大雨
2022年8月	新潟・山形大雨
2023年7月	秋田大雨
2012年2月	新潟豪雪
2013年7月	静岡豪雨
2014年2月	山梨・静岡雪害
2014年11月	長野地震
2021年7月	静岡熱海市土砂災害
2022年9月	静岡台風15号
2023年5月	石川県奥能登地震
2024年1月	石川県能登半島地震
2013年8月	山口豪雨
2014年8月	広島土砂災害
2018年7月	西日本豪雨
2012年7月	九州北部豪雨
2013年4月	熊本地震
2017年7月	九州北部豪雨
2019年8月	九州北部豪雨
2020年7月	熊本7月豪雨
2021年8月	九州8月豪雨
2023年7月	九州北部豪雨
2014年8月	徳島台風12号・11号
2011年9月	和歌山台風12号
2013年9月	滋賀台風18号
2014年8月	兵庫豪雨
2017年10月	三重台風21号
2018年6月	大阪北部地震

このたびの公益社団法人の認定を
どのように受けとめていますか。

業として社会に認められたことになります。組織としては今まで取り組んできたことですが透明性、説明責任といったガバナンスが求められますから、しつ

き、被災者の皆さんに行政支援をはじめ、どこでどういう支援を受けられるかといった必要な情報を掲載した新聞を発行しました。スマホもなかつた時代に画期的な支援だったと評価されています。しかしひースポーツは国際交流の船旅の事業があり支援を3ヶ月で終了せざるを得なかつたのが教訓として残りました。その後も国

。もともと公益社団法人への野に入れていたのですが、これで一つの災害に対応して集まつて、該する災害支援に活用する。越せるのは1年だけで、大きが法改正によって、寄付を長おける長期支援には向いていた。私たちとしてはそこができないようになつたことも公益申請した背景にあります。

内外で災害が起きたとき、スポットで支援活動は行っていましたが、東日本大震災のとき、それまでの経験から、復旧復興に携わっていくためには継続的に支援できる組織づくりが必要なのではなかいかと考え、災害支援を専門とする法人を設立しました。発災の約1ヶ月後4月19日に一般社団法人ピースボート災害支援センターを立ち上げました。そこから数えると14年になります。

PBVはこれまで国内87地域、海外31ヶ国以上で災害支援に携わってきましたが、その在り方はこの14年で変わってきてていますか。

石川 全国的な「日本ハム」の育成に活用していくことを考えています。

先ほどお話をした官民連携は大きな流れになっています。行政が災害支援の際に民間団体をパートナーにするときの窓口として国内団体から成る「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JV-OAD）」が組織され、私も運営委員として設立から関わっています。私たちは災害支援では現地のニーズに合わせて多様な支援方法を持つております。被災者が尊厳支援などを提供します。被災者が尊厳

ある生活を営むための国際基準である「スファイア基準」という言葉も最近認知されてきましたが、必要な支援が届くように調整しながら包括的にサポートができる団体はまだ少ないので、J V O A Dを通して、ノウハウや知識を社会に広げていくことも公益団体としての役割だと思っています。

PBVとしてのトピックはありますか。

継続的なご支援のお願い

災害支援センター (マッスリーセンター)

PBVは引き続き関連団体と連携し、現地のニーズに合わせた支援を行います。長引く支援活動に、継続的なサポートを
よろしくお願ひいたします。

募金方法



ご支援をよろしくお願ひいたします。

読者の皆さんへメッセージをお願いします。

災害は起こったときは注目されるのですが、時間とともに忘れられがちで、なかなか自分事になりにくいと思いますが、寄付金控除の対象にもなりますし、マンスリーサポートなどを通して災害支援、防災活動に常に関心をもつていただけないと幸いです。今後も皆さまの活用していますが、今年はさらにキッチンカーを10台増やせる予定なので、この事業にも力を入れていこうと思っています。

ごとに新世代に対する支援を行なっています。

災害支援サ （マンスリーサ PBVは引き続き関連団体 ーズに合わせた支援を行 動に、継続的なサポートを よろしくお願ひいたします。

